

「市民が使いやすい公共交通」

Jさん： まず、市民が使いやすい公共交通機関であることが必要だと思います。先ほど、運転系統が分かりにくいとありました。系統番号を出すやり方は前にやっていましたが、2回ほどやって今はほとんど使われていない状態です。あれがあると分かりやすいようにも思います。路面電車も乗り降りの多い停留所が使いづらいです。できるだけ公共の方からもバックアップして、早く安全で快適に乗り降りできるようにしていただけたらと思います。乗りやすさという点では、残念ながら地図とか行き先、通過地の表示が必ずしも十分ではない。それから、高知駅でも路面電車はかなり便利になっていると思いますが、市内バスの乗り場が他の都市に比べて使いづらいという気がします。観光客でも、遊覧バスを利用する人もあれば、普通の交通機関を使う人も結構多いです。いろいろなやり方があるようですが、市民が分かりやすければ観光客にも分かりやすいと思いますので、そういった観点からも力を入れていただきたい。交通機関の事業者が異なるので問題もあるかもしれませんが、乗り継ぎの点もできるだけ便利で安く乗れるように工夫していただきたいと思います。

知事： 分かりやすさも含めて考えないといけません。おっしゃる通りだと思います。

Kさん： 県内での交通機関同士の調整をして欲しいです。各事業者に提案をしたり、気軽に相談を受けられるような環境が望ましいと思います。

知事： 県の体制も整えましたので、コミュニケーションは従前に比べてはるかに活発になっているのではないかと考えています。

Lさん： いろいろな立場の皆さんが一緒になって高知の町や交通を考えていくことが、今回、一番提案したいことでした。今年度の初めに、文化振興事業団に、「点々とある文化施設が一本のラインになるような交通ができたらどうだろうか」という提案をさせていただいたところ、前向きな返事があったので、県としても声かけをしていただけたらと思います。

知事： わかりました。